

新丸山ダム 工事だより 1月期 ダム本体・ダム周辺

発注者



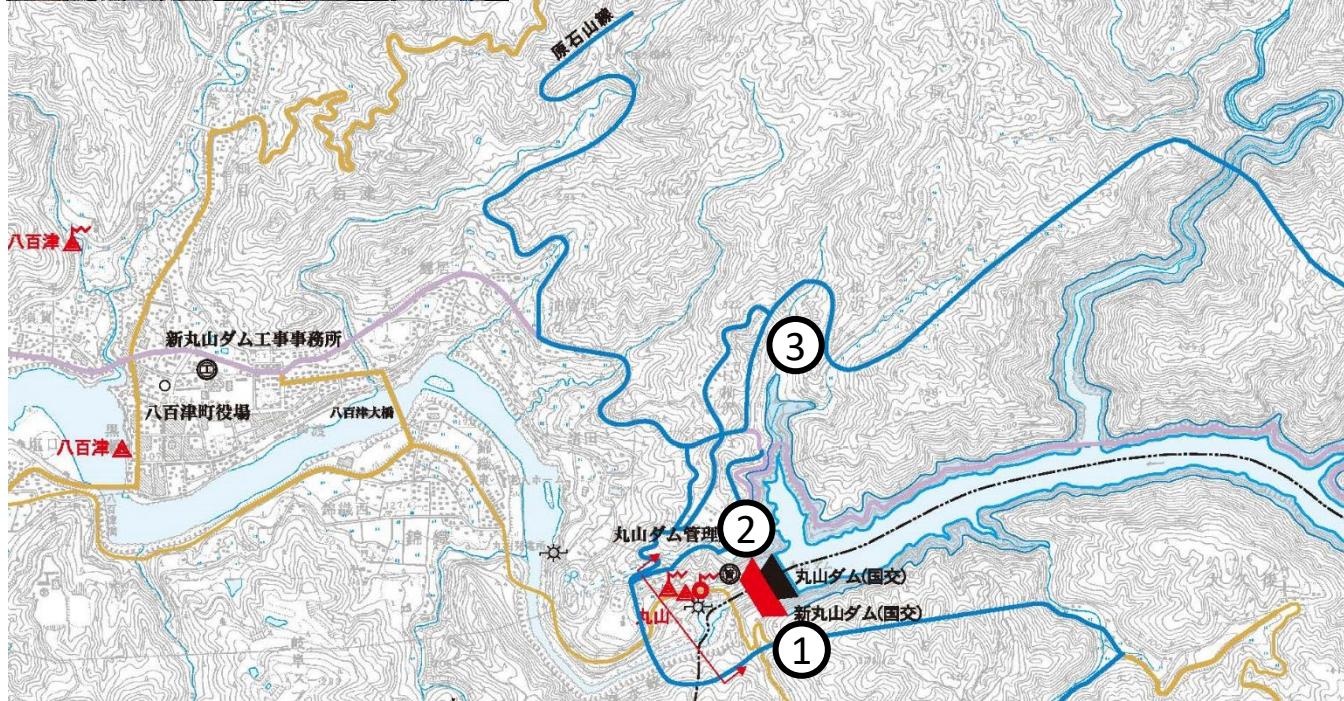
国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所
TEL 0574-43-2780(代)



新丸山ダムのキャラクター



R7.12末



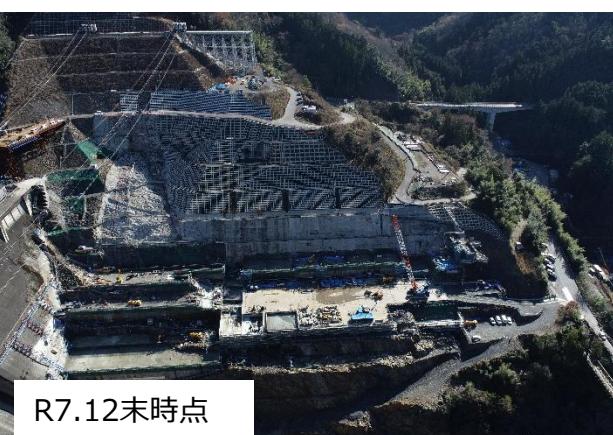
令和6年度 新丸山ダム本体建設第2期工事

①ダム本体左岸

・ダム本体のコンクリートを構築しています



R4.11末時点



R7.12末時点

②ダム本体右岸

・ダム本体に用いるコンクリートを製造しています（右写真上の赤破線の建物）
・ダム基礎部の硬い岩盤を出すため発破等を併用しながら掘削し、法面の保護工を行っています（右写真下の赤破線の箇所）



R4.11末時点



R7.12末時点

③骨材製造設備

・ダムのコンクリートに用いる石や砂（骨材）を製造しています



R4.11末時点



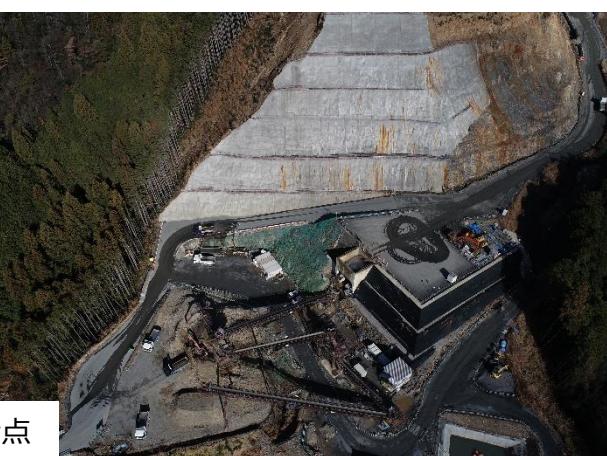
R7.12末時点

④原石山

・ダムのコンクリートに用いる石や砂（骨材）の原石を採取しています（左写真の赤破線の箇所）
・採取した原石を大まかに砕き（右写真）、ダンプトラックで骨材製造設備へ運搬しています



R7.12時点



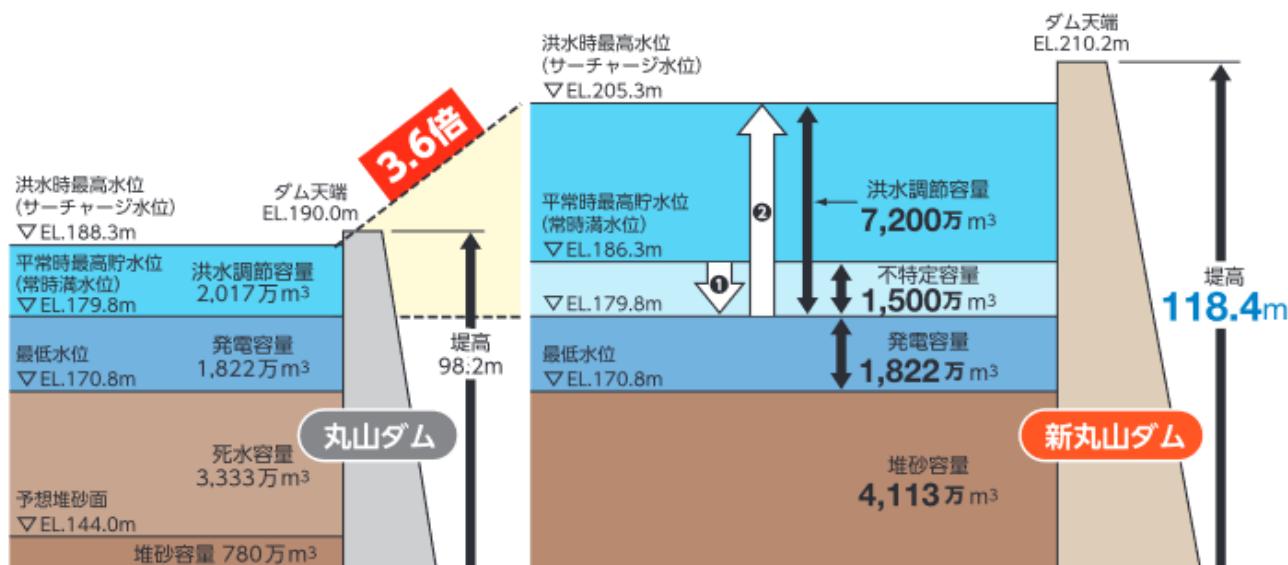
新丸山ダム建設事業 事業概要

新丸山ダム建設事業は、木曽川の河口から約90kmに位置する丸山ダムを20.2m嵩上げして機能アップを図るダム再生事業です。丸山ダムの下流側47.5mの位置に、新丸山ダムが丸山ダムに一部重なる形で嵩上げを行います。

新丸山ダムの堤体が完成した段階で、ダムからの放流をスムーズに流すために丸山ダムの上部を一部撤去します。



洪水時に新丸山ダムは、丸山ダムと比べて3.6倍の水を貯めることができます。7,200万m³の洪水調節容量のうち1,500万m³は、渴水時の河川環境の保全や用水の安定化等のために設けた不特定容量を予備放流により、洪水調節容量として有効活用します。



① 洪水貯留(洪水調節)の準備をするため事前に水位を下げる操作(予備放流)
② 洪水貯留(洪水調節)を行う操作

通行規制情報

・令和6年度 新丸山ダム本体建設第2期工事

新丸山ダム建設工事に関する工事車両通行や資機材等の運搬作業に伴い、当面の間通行規制を行います。

- ・規制区間：下図の黄線範囲、青線（破線）範囲
 - ・規制時間：以下の図のとおり
 - ・規制期間：以下の図のとおり

